

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所 東  
 コード番号 7748 URL http://www.holon-ltd.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 純  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	978	△1.7	94	△60.2	97	△59.9	101	△54.1
26年3月期第3四半期	995	43.2	237	—	242	—	222	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	30.52		—					
26年3月期第3四半期	66.49		—					

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,629	689	42.3
26年3月期	1,474	587	39.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 689百万円 26年3月期 587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	31.1	180	17.9	179	16.1	266	51.4	79.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成27年2月10日)公表の「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期3Q	3,340,500株	26年3月期	3,340,500株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	—株	26年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	3,340,500株	26年3月期3Q	3,340,500株
----------	------------	----------	------------

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の追加金融緩和の効果から大幅な円安、株価上昇の動きが見られました。消費税増税の駆け込み需要とその反動による個人消費の落ち込みも増税の先送り決定で不安材料が払しょくされる形になりました。また、急激な原油価格下落の効果は今後の景気回復に大きな期待感の高まりも見えてまいりました。

半導体業界におきましては、スマートフォン(スマホ)やタブレット(多機能携帯端末)など携帯・通信分野で使用する半導体の需要は堅調に推移しており、半導体各社の設備投資拡大が期待される状況が続いております。

このような状況のもと、当社主力製品のマスクCD-SEM機「Z7」は顧客より高い評価をいただき、当第3四半期累計期間の受注はおおむね計画通りに推移し、第4四半期会計期間の出荷を目指しております。また、競合会社との価格面での競争も激しさを増している状況から、当社の事業課題である『複数製品の販売による経営安定化』を実現するため、EDS分析機の「LEXa(レグザ)」等を積極的に市場投入してまいります。

当期に採択されたNEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の平成25年度イノベーション実用化ベンチャー支援事業に係る助成事業「NILナノパターンの観察計測ができる高分解能CD-SEMの開発」では10ナノメートルノード以下の次世代CD-SEM機の開発を進めております。

上記の結果、売上高は978百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。損益につきましては、営業利益94百万円(前年同四半期比60.2%減)、経常利益97百万円(前年同四半期59.9%減)及び四半期純利益101百万円(前年同四半期比54.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.2%減少し、1,140百万円となりました。これは、未収消費税等が35百万円増加した一方、仕掛品が71百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて71.8%増加し、488百万円となりました。これは、有形固定資産が154百万円、無形固定資産が33百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて10.5%増加し、1,629百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて10.2%増加し、619百万円となりました。これは短期借入金が98百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が114百万円、電子記録債務が86百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1.3%減少し、320百万円となりました。これは、長期借入金が12百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて6.0%増加し、940百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて17.4%増加し、689百万円となりました。これは、利益剰余金が101百万円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績の動向を踏まえ、平成26年5月13日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年2月10日)公表の「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	558,783	550,066
受取手形及び売掛金	310,552	290,223
仕掛品	301,487	230,139
原材料	16,493	30,524
その他	2,410	39,383
流動資産合計	1,189,727	1,140,337
固定資産		
有形固定資産	203,642	357,773
無形固定資産	45,204	78,647
投資その他の資産	35,799	52,479
固定資産合計	284,646	488,900
資産合計	1,474,373	1,629,237
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,891	276,324
電子記録債務	14,144	100,416
短期借入金	165,000	66,400
1年内返済予定の長期借入金	65,640	75,838
未払法人税等	12,784	-
賞与引当金	9,049	-
製品保証引当金	42,000	17,000
その他	91,540	83,349
流動負債合計	562,050	619,327
固定負債		
長期借入金	202,230	189,938
繰延税金負債	22,453	22,453
退職給付引当金	78,346	89,011
その他	22,219	19,483
固定負債合計	325,249	320,886
負債合計	887,299	940,213
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	635,681	635,681
利益剰余金	△740,969	△639,019
株主資本合計	587,073	689,024
純資産合計	587,073	689,024
負債純資産合計	1,474,373	1,629,237

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	995,845	978,546
売上原価	456,449	552,791
売上総利益	539,395	425,754
販売費及び一般管理費	301,770	331,167
営業利益	237,624	94,587
営業外収益		
受取利息	37	80
為替差益	9,142	7,860
その他	121	28
営業外収益合計	9,302	7,969
営業外費用		
支払利息	4,666	3,901
手形売却損	76	1,131
その他	-	402
営業外費用合計	4,743	5,434
経常利益	242,183	97,122
特別利益		
保険金収入	-	7,523
特別利益合計	-	7,523
税引前四半期純利益	242,183	104,646
法人税、住民税及び事業税	20,085	2,695
四半期純利益	222,098	101,950

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。